

3. 姫路工業大学の成長期 充実した(過酷な?)カリキュラム

電子工学科

区分	授業科目	単位数				区分	授業科目	単位数			
		1年目	2年目	3年目	4年目			1年目	2年目	3年目	4年目
専門基礎教育科目	微分積分学	4				専 門 教 育 目 次	図学	4			
	代数学	4					工業製図		1		
	幾何学	4					•函数論		4		
	基礎物理学	4					•力学		4		
	物理学実験	1					•電気機器通論		1	1	
	原子物理学I		2				•電子材料			1	1
	”II		2				•電子物理II			1	1
数理統計			4		•電気材料			2	2		
専 門 教 育 目 次	微分方程式		4			•照明・電熱工学			2	2	
	電気磁気学		2			•電力工学通論			2	2	
	電気回路I		2			•電波工学			2	2	
	電気計測		2			•有線工学			1	1	
	電子物理I		2			•過渡現象論			1	1	
	電子管工学I		2			•自動制御理論			1	1	
	電気基礎実験		1			•固体電子工学II				1	
	電気理論演習I		2			•テレビジョン工				1	
	固体電子工学I		1			•マイクロ波工学				2	
	電子回路I		1	1		•演算工学				2	
	電子工学実験I		1	1		•電波法規				1	
	電気回路II		1	1		水力機械大意		1			
	電子管工学II		1	1		材料力学		2			
	回路網理論		1	1		熱機関大意		1			
	電子装置		2	2		外国書輪講			2		
	無線工学		2	2		応用計測		1			
	電子回路II		1	1		通信方式			1	1	
	電子工学演習I		1	1		音響工学			1	1	
	高周波計測		1	1		電動力応用			1	1	
	電気工学実験大要		1	1		工場経営			2	2	
	電子回路III		1	1		電気化学概論			1	1	
	電子工学実験II		1	1		原子力工学I			1	1	
	電子工学演習II		1	1		情報理論			1	1	
電子工学実験III		1	1		特別講義			1	1		
卒業研究				8							

履修許可の条件	1. 電子工学科における実験を履修するためには、物理学実験に合格しなければならない。																			
	2. 卒業研究を履修するためには3年以上在学し電気基礎実験、電子工学実験I及び電気工学実験大要に合格し、次の単位数を修得しなければならない。 Ⅱ																			
	<table border="0"> <tr> <td>一般教育科目</td> <td>36単位以上</td> <td>専門基礎教育科目</td> <td>15単位以上</td> </tr> <tr> <td>保健体育科目</td> <td>4単位</td> <td>専門教育科目</td> <td>42単位以上</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> <td>14単位以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(以上別表第1を参照)</td> <td>計</td> <td>111単位以上</td> </tr> </table>	一般教育科目	36単位以上	専門基礎教育科目	15単位以上	保健体育科目	4単位	専門教育科目	42単位以上	外国語科目	14単位以上			(以上別表第1を参照)		計	111単位以上			
一般教育科目	36単位以上	専門基礎教育科目	15単位以上																	
保健体育科目	4単位	専門教育科目	42単位以上																	
外国語科目	14単位以上																			
(以上別表第1を参照)		計	111単位以上																	
卒業資格	<p>✕ 学外実習(原則として3週間以上)は教室主任の承認を得た場所で行ない、実習先よりの実習証明書及び本人の実習報告書を教室主任に提出しなければならない。</p>																			
	<p>2. 4年以上在学し、卒業研究の審査に合格し、学外実習及び工場見学を終了し、卒業所要単位数を修得した者が卒業資格を得る。</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="4">卒業所要単位数</td> </tr> <tr> <td>一般教育科目</td> <td>36単位以上</td> <td>専門基礎教育科目</td> <td>15単位以上</td> </tr> <tr> <td>保健体育科目</td> <td>4単位</td> <td>専門必修科目</td> <td>46単位</td> </tr> <tr> <td>外国語科目</td> <td>14単位以上</td> <td>専門選択科目</td> <td>273単位以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(以上別表第1を参照)</td> <td>合計</td> <td>140単位以上</td> </tr> </table> <p>・印を付した科目中より15単位以上を修得することが望ましい。</p>	卒業所要単位数				一般教育科目	36単位以上	専門基礎教育科目	15単位以上	保健体育科目	4単位	専門必修科目	46単位	外国語科目	14単位以上	専門選択科目	273単位以上	(以上別表第1を参照)		合計
卒業所要単位数																				
一般教育科目	36単位以上	専門基礎教育科目	15単位以上																	
保健体育科目	4単位	専門必修科目	46単位																	
外国語科目	14単位以上	専門選択科目	273単位以上																	
(以上別表第1を参照)		合計	140単位以上																	

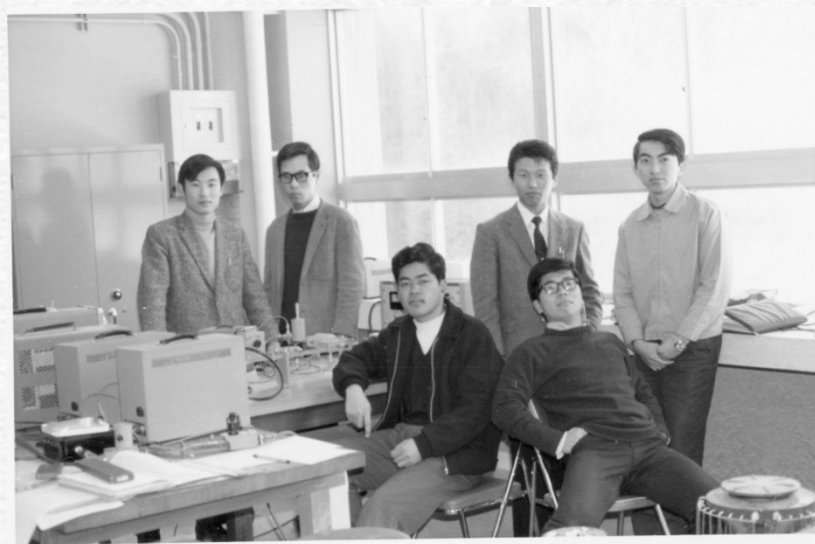
昭和43年度学生便覧より

カリキュラムの特徴

- ・座学専門科目;半期1単位,
- ・必修科目46単位, ・学生実験の重視
- ・卒研履修許可の条件;111単位
- ・卒業所要単位数;140単位

3. 姫路工業大学の成長期

昭和44, 45年当時の授業風景と研究室



3. 姫路工業大学の成長期

大学改革の嵐と第一次工大紛争

- ・昭和42年頃; 学生運動, 70年安保問題・大学問題
- ・昭和43年; 東大紛争, 全国の大学に広がる
- ・昭和44年1月; 安田講堂占拠の全共闘を機動隊制圧
- ・昭和44年4月28日; 伊伝居運動場にて第1回大衆団交
大学改革に関する諸問題
- ・昭和44年6月25日~29日; 学生ストライキ
「大学の運営に関する臨時措置法案」反対
- ・昭和44年9月17日; 伊伝居本館バリケード封鎖(全闘委)
- ・大衆団交断続的開催; 9月22日, 25日, 10月6日
- ・書写1号館~3号館; 封鎖、解除
- ・昭和44年11月21日未明; 県警機動隊350人
教職員、学生による封鎖解除(伊伝居, 書写キャンパス)
- ・昭和44年12月; 石野学長教授会で辞意を表明
- ・昭和45年1月大衆団交(4回); 全闘委と決裂, スト解除
- ・昭和45年3月31日; 卒業証書交付

3. 姫路工業大学の成長期 束の間の平穩

- 全科目選択制, 卒業所要
単位数124単位に削減
- 昭和45年度入学生自宅待機
(5月10日まで)
- 夏季休暇短縮(9月1日授業開始)



ダンスパーティに興じる



青春を謳歌

大平恭造学長職務代理

(昭和44年12月23日

~昭和46年4月9日)

3. 姫路工業大学の成長期

第二次工大紛争

- ・昭和46年4月10日；小村雷教学長職務代理
（～昭和47年8月31日，同年9月1日より学長）
- ・昭和46年6月；機械工学教室採用人事遅延問題
（学生自治会6項目の公開質問状）
- ・教授会大衆団交拒否，話し合い呼び掛け
- ・昭和46年6月23，24日；大衆団交貫徹全学スト
- ・昭和46年7月；機械科教員12名辞表付要望書提出
- ・昭和46年8月1日；辞表受理（10名），同2日退職辞令
- ・昭和46年9月；補講，授業再開，ピケ，前期試験延期
- ・昭和46年10月；「崩壊か再建か一姫工大の危機！」
「姫工大の再建」
- ・昭和46年11月；学生11名威力業務妨害で逮捕
- ・昭和46年11月29日；本館3階バリケード封鎖
- ・昭和46年12月2日；早朝機動隊学外待機，封鎖自主解除
- ・昭和47年3月23日，24日；昭和47年度入学試験実施

3. 姫路工業大学の成長期

大学院工学研究科修士課程の開設

- ・昭和43年4月1日；大学院工学研究科修士課程開設
（応用化学専攻6講座，産業機械工学専攻5講座）
- ・昭和48年4月1日；電気電子工学専攻5講座，
金属材料工学専攻4講座開設
- ・昭和50年4月1日；機械工学専攻5講座開設



第3代学章

3. 姫路工業大学の成長期

30周年記念

- ・記念式典；昭和48年10月27日（通常より1年前倒し）
記念式典および祝賀会，「姫路工業大学30年史」発編纂，
学歌制定，記念講演会，永年勤続者表彰



記念講演
朝永振一郎博士



創立30周年記念式典